第898回 環境科学共同セミナー

昆虫後脚真菌防衛共生の発見



講師：深津 武馬先生

産業技術総合研究所，東京大学大学院，
筑波大学大学院

日時：2026年12月1日（火）15:30～17:00

場所：総合科学部K101

要旨

多くの生物が恒常的に共生微生物を保有している。目に見えないので見過ごされがちであるが、共生微生物によって食べ物が変わったり、病気にかかりにくくなったり、体色が変わったり、硬さが向上したり、高温やストレスへの耐性を獲得したり、驚くほどにさまざまな生き物の性質が、体内の共生微生物の影響のもとにある。

本講演では、特に昆虫類における共生微生物の機能、起源、進化について概観した後、特にノコギリカメムシ後脚真菌防衛共生の発見について、その発端から紆余曲折を経て論文発表に至るまでの50年以上にわたる軌跡について紹介する。





References

[1] Lis JA (2003) External morphology of the tympanal organs of Dinidoridae (Hemiptera: Heteroptara: Pentatomoidea). *Pol J Entomol* 72: 297-364.

[2] Ash C (2025) Fungal obstructionism. *Science* 390: 251.

[3] Nishino T, Moriyama M, Mukai H, Tanahashi M, *et al.* (2025) Defensive fungal symbiosis on insect hindlegs. *Science* 390: 279-283.

本セミナーは理系大学院(総合科学・先進理工系科学・統合生命科学・生物圏科学・医系科学研究科)の認定科目です。1回分です。

問い合わせ・責任者：梶本 麻未（広島大学院統合生命科学研究科・総合科学部）
連絡先：6514（内線），kajimotoa@hiroshima-u.ac.jp